

西九州させば広域都市圏で取り組む事業の中で生まれた「西九州食財」。西九州にはいまだに知られていない、国内外のお客さんに感動を届けられる産品がたくさん存在します。今月号からスタートするこのコーナーでは、この「西九州食財」を題材に、産品の特長やこだわりなどを紹介します。

プリンセスマンゴー



「プリンセスマンゴー」は、農業生産法人「フロンティア・アグリカルチャーながさき」（光町）が地域ブランド作物の創出を目的に栽培しているマンゴーです。糖度が17度～21度と高濃度でバランスの良い酸味があり、繊維が少なく滑らかでしっかりとした濃厚な味が特長です。その品質は高く評価されており、昨年開催されたG20サミットの首脳晩さん会（大阪）で各国首脳に振舞われたほか、JRスイーツ列車「或る列車」などでも提供されています。

プリンセスマンゴーは、こだわりのハウスポット栽培で実る個数を1鉢30個に制限し、徹底した品質管理の下、生産されています。6月中旬～8月中旬に旬を迎え、樹上で紫から赤色になり、完熟後に収穫したマンゴーは果肉が濃いオレンジ色をしています。

現在は果実以外にもジュースやシロップ、カレーなどに加工され、市内で販売されています。

主な販売場所

- 食彩の里よかばい相浦 ☎ 0120-831-481
- 堀内フルーツファーム ☎ 76-7677

※ホームページでも購入できます。



「西九州食財」(要旨・抜粋)

- ① 西九州の恵まれた自然環境を生かし、生産された産品
- ② 生産方法やおいしさを追求したこだわりの産品
- ③ 事業を構成する佐世保市、松浦市、川棚町、新上五島町、伊万里市、佐々町が特に推奨している産品の要件を全て満たす食財です

☎ 農業畜産課 ☎ 24-1111

見て！聞いて！本市の広報番組

キラっ都させば



6月放送分の収録の様子

朝長市長が自ら市の施策などをお知らせする広報テレビ番組「させば市政だより～キラっ都させば～」。7月は「させば振興券」でまちに元気と活力を」をテーマにお知らせします。素敵なプレゼントも用意していますので、どうぞご覧ください。

【放送スケジュール】

- 7月4日(土)、18日(土) ⇨ 9:25 NBC、11:45 KTN
- 7月11日(土)、25日(土) ⇨ 16:25 NCC
- 7月12日(日)、26日(日) ⇨ 6:30 NIB
- 毎週日曜 ⇨ 18:55 テレビ佐世保

※ YouTube 版は右の画像からどうぞ！



キラっ都させばラジオ版

さまざまな市政情報をFMさせばのパーソナリティ・橋口修平さんとさせば観光大使の川前奈々さん、担当の市職員が対話形式で分かりやすくお知らせする番組「キラっ都させば ラジオ版」。市民の皆さんから寄せられた疑問にお答えするコーナーや週末のイベント情報、佐世保にゆかりのある音楽の紹介など盛りだくさんの内容で放送します。

放送日 毎週金曜 13時～13時55分

16時～16時55分(再放送)

毎週土・日曜 10時～10時55分(再放送)

放送局 はっぴいFM(FMさせば)

☎ 秘書課 ☎ 24-1111

人の動き(6月1日現在)

- 総人口 244,554人(前月比 -163人)
男性 115,980人(-84人)、女性 128,574人(-79人)
- 世帯数 105,096世帯(前月比 -17世帯)
- 5月中の動き
転入 362人、転出 413人、出生 138人、死亡 250人



ことしの春から初夏にかけて、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、さまざまな催しやイベントが中止・延期・自粛せざるを得なくなりました。市民の皆さまには、緊急事態宣言で外出や人との触れ合い、仕事の制限など大変辛い期間を過ごされたことと思います。

第1波は、国民の協力と医療関係者の献身的な働きによって何とか収束しつつありますが、今後も秋から冬にかけて第2波、第3波への警戒を怠ることはできません。ワクチンや治療薬の早期完成を願うばかりです。

さて、ことしは新型コロナウイルスの影響によって、本市の初夏を代表し、毎年5月に開催されている400年来の伝統的催し「早岐茶市」が中止に、お茶どころ世知原地区での新茶まつり「世知原じげもん市」が延期となりました。生産者、関係者はもとより、楽しみにされていた市民の皆さまにとっても、大変残念なことでした。茶市などが中止・延期されたことで、ことしはお茶の売れ行きが悪くなるのではないかと、少し心配しています。

ところで、早岐茶市では昔から「茶市ん風に吹かるっぎんた、そん年は風邪ひかんとバイ」という言い伝えがあります。昔の人は「お茶の効用」を知っており、早岐茶市のキャッチコピーにもしていたのでしょね。そこで、お茶でうがいをする風邪やインフルエンザの予防になるとの専門家の定説もあることから、新型コロナウイルスの予防にもなるのではないかと思い調べてみました。

さすがに、新型コロナウイルスは今始まったばかりで、その研究までには至っていませんでしたが、「お茶の効用」について記してありましたので、ご紹介いたします。

お茶の効用の多くは、お茶独特の渋みの元となる「茶カテキン」や「タンニン」によるものだそうで、実に多くの効き目を持つといわれています。

緑茶はウーロン茶や紅茶と違い、お茶の葉を発酵させず

お茶の効用

- 発がんを抑える作用(緑茶に含まれるポリフェノールとカテキンが細胞のガン化を予防し、ビタミン類が発がん物質の作用を抑制する)
- 血液中のコレステロールを低下させる作用
- 血圧の上昇や血糖値の上昇を抑える作用
- 老化を防止する作用
- 抗菌・抗ウイルス作用(食中毒の腸炎ビブリオ菌、毒素型ブドウ球菌、大腸菌O157などを殺菌する力、風邪やインフルエンザを予防する力)
- 虫歯を防ぎ、口臭を予防する作用(緑茶に含まれるフッ素は歯を強くし、虫歯にならない抵抗力をつける。また、タンニンの殺菌力も有効)
- ダイエットの強い味方(タンニンが脂肪を分解する酵素の働きを高める)



に作られるため、健康に良い生葉の成分をそのまま残すことができるそうです。

次にペットボトルの緑茶飲料との違いです。急須でお茶を入れると湯飲みの底に粉のような細かい茶葉が沈殿しますが、この沈殿物こそ緑茶の栄養成分が豊富に含まれています。ペットボトルの緑茶飲料は、大事な栄養成分の多くが除去されているとのこと。

このような緑茶の効用を今一度見直していただき、緑茶によるご自身の健康づくりと合わせて「お茶の産地づくり」にもご協力いただければ幸いです。

佐世保市長 朝長 則男

自ら進んで行動を

私の通う学校では年に一度、全校生徒が街の清掃を行う日が設けられています。授業2時間分程度の時間を使用して、草むしりやごみ拾いなどを行っています。生徒にはグループで1つのごみ袋が渡され、2時間経たせてようやくいっぴいになるのですが、あるグループが先生に2袋目ももらっているのが目に入りました。同時に1袋目のごみ袋を先生に渡していたのですが、私たちのグループが2時間かけても集められないくらいのごみが詰まっていた、袋が破れそうでした。あまりの早さに先生も驚いていて、私は真剣にごみ拾いに取り組んでいる彼らに感心しました。そのグループは他のグループも手伝い、2袋目もごみでいっぱいにして清掃を終えました。ごみ拾いは自ら進んで行うには少し勇気が必要だと思いますし、誰もがやりたいというものではありません。しかし、真剣に取り組んでいたグループを見て、このような行動が広がればいいと思います。

匿名希望
☎ 佐世保徳育推進会議 ☎ 23・2856
(聞いて徳する話)を随時募集しています。詳しくはお尋ねください)